

## 参 考 資 料

### < グリーンコンシューマー、グリーンカンパニーについて >

|                                                      |    |
|------------------------------------------------------|----|
| グリーンマーケティングとグリーンコンシューマリズム【グリーンコンシューマー大阪ネットワーク】 ..... | 19 |
|------------------------------------------------------|----|

### < 家庭ごみの減量化に関する情報インセンティブについての他都市の取組事例 >

|                                          |    |
|------------------------------------------|----|
| 分別方法ガイド：ごみ分別の手引き、分別辞典【北海道富良野市】 .....     | 23 |
| 取組表彰：ごみトーク in 福岡【福岡市】 .....              | 30 |
| 環境家計簿：環境家計簿コンテスト【北九州市】 .....             | 31 |
| 環境家計簿：自治体、各種団体、企業などが作成している環境家計簿の概要 ..... | 40 |
| エコマネー：クリン【北海道栗山町】 .....                  | 41 |
| エコマネー：アースデイ（r）【東京都渋谷区】 .....             | 42 |

### < 家庭ごみの減量化に関する経済インセンティブについての他都市の取組事例 >

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 二段方式で有料化を実施している5市の取組 ..... | 45 |
| 市町村におけるごみ処理手数料の状況 .....    | 46 |

### < 分別収集及び集団・拠点回収に関する他都市の取組事例 >

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 地域集団回収報奨金制度【福岡市】 .....             | 47 |
| 商店街と学生の連携【早稲田いのちのまちづくり実行委員会】 ..... | 48 |
| 13大都市における家庭系廃棄物の収集方式 .....         | 49 |
| トレイの店頭回収促進【株式会社エフピコ】 .....         | 50 |

## グリーンマーケティングとグリーンコンシューマリズム ～グリーンコンシューマー大阪ネットワークホームページより～

### グリーンコンシューマーとはなにか

#### 1. 環境に配慮した商品を購入し、使い捨てでなく循環型のライフスタイルを選択する消費者

- ・ 1989 年イギリス「ザ・グリーンコンシューマー・ガイド」  
店舗の環境配慮度を 5 段階の星マークで評価、掲載している
- ・ 1994 年日本「地球にやさしい買い物ガイド」(グリーンコンシューマー・ネットワーク)  
店舗評価と紹介

#### グリーンコンシューマリズムの定義 10

必要なものだけ買う

ごみになるものは買わない、容器は再使用できるものを選ぶ

使い捨て商品は避け、長く使えるものを選ぶ

使う段階で環境負荷が少ないものを選ぶ

つくるときに環境を汚さず、つくる人の健康をそこなわないものを選ぶ

自分や家族の健康や安全をそこなわないものを選ぶ

使ったあと、リサイクルできるものを選ぶ

再生品を選ぶ

生産・流通・使用・廃棄の各段階で資源やエネルギーを浪費しないものを選ぶ

環境対策に積極的な店やメーカーを選ぶ

#### 2. 企業に対し、環境を汚さない製品の生産や流通をうながす行動を起こす消費者

グリーンマーケティングを実施する企業を評価、公表し、積極的に製品を購入したり投資をする

1989 年刊「ザ・グリーンコンシューマー・ガイド」(アメリカ)企業の社会的配慮を評価

企業は環境問題に積極的に取り組んでいるか(グリーンマーケティングの実施)

環境保全・社会福祉事業などに寄付をしているか

地域社会に貢献しているか

男女を差別せずに雇用しているか

人種差別をせずに雇用し、平等に待遇しているか

従業員家族の福祉対策を実施しているか

職場の労働環境はよいか

企業の活動状況を公開しているか

### 3. 行政に対し、環境対策を実施し法律や条例の制定を提言し、または進んで協力する消費者 1992 年地球サミットの合意が国内で果たされているか

#### 合意事項

- ・憲章としての「リオ宣言」→持続可能な発展 Sustainable Development
- ・行動計画としての「アジェンダ 21」
- ・温暖化防止のための「気候変動枠組条約」
- ・種の保全をはかる「生物的多様性保全条約」
- ・「森林保全の原則」
- ・「砂漠化防止」の必然性確認
- ・環境保全のための資金対策および技術移転

#### 法制定や施策

##### 合意に基づき

- ・日本「環境基本法」施行→各自治体の環境基本条例や環境基本計画
- ・日本「アジェンダ 21」策定→ローカルアジェンダ 21 の策定へ
- ・「生物的多様性保全条約」発効
- ・「国際熱帯木材協定」改定
- ・「地球温暖化防止条約」発効 日本も批准
- ・第 1 回ベルリン会議の目標 co2 排出を 90 年代末までに 1990 年レベルにする
- ・「砂漠化防止条約」制定
- ・「ISO14000」(環境規格)制定 日本「環境 JIS」エコラベル製品充実や環境家計簿運動

### 4. グリーンコンシューマリズムとは何か

1. 2. 3. を実践することによって、消費者主導で環境配慮型・循環型社会を実現すること

#### 地球サミット合意事項によるグリーンコンシューマリズムの形成

アジェンダ 21「持続可能な生産・消費パターンを促進する政策の立案をすべきである」

「変革のためのアジェンダ」(1994 ノルウェー主催の持続可能な消費に関するシンポで採択)

1. 再生できない資源を利用する生産を、再生できる資源利用にかえる
2. 大量生産や使い捨て消費を見直す
3. 化石燃料を太陽エネルギー、風力、小規模水力、生物燃料に切り替える
4. 食糧や資源の地域自立性を高め、遠隔大量輸送を見直す
5. リサイクル、再使用、再加工性などを設計の段階から配慮する
6. 製品の原料調達、製造、使用、廃棄に伴う資源、エネルギー、環境負荷、危険性に関する情報をエコラベルで消費者に提供する
7. エコラベル製品をグリーン調達や企業評価の条件とし、環境負荷の大きな商品に対しては環境税や課徴金を課す
8. 事業者や家庭の消費について、環境マネジメントを行い、持続可能性をはかる

## グリーンマーケティングの構築

### 1. グリーンマーケティングとは何か

#### ・グリーンマーケティング

地球や地域の自然環境および生態系と企業活動を調和させるため、商品やサービスの企画、原料調達、製造、流通、使用、廃棄、再生に至る LCA にわたって、省資源、省エネルギー、廃棄物削減、リサイクルなどの環境配慮を実施する流通、販売、宣伝に関する組織的行動

### 2. グリーンマーケティングの実施

サイトの環境配慮→環境管理・監査による環境マネジメント

工場、オフィス、倉庫について環境管理システムをつくり、実施して監査を受け、認証を得る

アイテムのライフサイクル・アセスメント(LCA)

製品の原料調達、製造、使用、廃棄、再生の段階の環境管理・監査

### 3. グリーンマーケティングを強化するグリーン調達

- ・ アメリカ→環境保護庁(紙製品、再精製潤滑油、コンクリート、再生タイヤ、再生断熱材、冷却材、カーペットやパイプの建築資材、モーターオイル、遊具、肥料)
- ・ 連邦調達庁(紙製品、再生タイヤ、絶縁体、カートリッジ、パソコン、複写機、水性塗料、生分解性製品など 3000 品目)
- ・ ドイツ→「ブルーエンジェル」製品を調達
- ・ 日本→1995 年村山内閣が閣議決定「財やサービスの購入・使用にあたっての環境保全配慮細目」を提示  
細目

エコマーク紙製品、再生紙、白色度の低い紙、省エネ型パソコン・コピー機、低公害車、共同購入、物品推奨リスト作成、事務手続きの簡素化、紙の両面使用、情報システム整備、容器包装のリサイクル、電化製品の修繕、自販機の削減など)

## エコラベルの充実

### 1. エコラベルの果たす役割

グリーンコンシューマーとグリーンマーケティングを結ぶ接点であり、持続可能社会実現の促進役になる

### 2. ISO のエコラベルの種類

#### I 型エコラベル(認証基準に基づいた第三者認証のエコラベル)

環境管理・監査を実施し、第三者認証を受け取得する

#### II 型エコラベル(自己主張による環境情報のエコラベル)

企業が製品やサービスについて、リサイクル、コンポスト、詰め替えなどが可能というような 12 種類の主張ができる。主張内容は証明が必要だが、第三者認証ではない

#### III 型のエコラベル(第三者認証による環境負荷を定量的に表示するエコラベル)

LCA にわたる環境負荷、エネルギー、資源消費量をグラフ化、ラベル化するエコラベル

### 3. エコラベル

世界のエコラベル

ドイツ「ブルーエンジェル」、北欧 5 ヶ国「ノルディックスワン」、カナダ「環境チョイス」、EU(統一ラベル)「ブルーフラワー」、アメリカ「グリーンシール」、アメリカのバーモント州「家庭用有害製品棚シール」、カリフォルニア州「プロポジション 65」→妊娠中のアルコール飲料の影響、煙草の害など

日本のエコラベル

エコマーク→(財)日本環境協会

分別収集のためのプラスチック容器や缶の材質表示、リサイクル製品につくマーク→牛乳パック再利用、ごみ減量推進、環境配慮を実施している店舗や作業場→フロン回収、廃材の分別・再利用、包装配慮、

### 日本のコンシューマーについて

#### 1. 日本の消費者像

家庭生活は大切にすが、社会や環境に対する視点に欠ける傾向がある

頭でっかちで手足が細い

知っていても動かない→一人で何をしても何も変わらないという諦観、依存型

CMに弱い

主体性がなく、企業宣伝にのせられやすい

モノ豊かで便利な生活がずっと続くという思い込み

環境に配慮した生活方法はカッコ悪いと思っている

#### 2. 日本の消費者が変わるために

自分一人から行動を起こしていく習慣 知っていることは実践する

エコマークやエコラベルの不備を改善し、製品の種類を広げる

環境家計簿の実践によって、日本の消費者のウイークポイントを強化する

記録、定量化、共同作業、客観評価、社会化、継続性などを身につけることができる

| 富良野市 「ごみ分別の手引き」 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                    |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 概要              | 2001 年 10 月に開始したごみの分別収集の仕方について、分別のポイントや 14 種類ある分別ごみの収集場への出し方、市指定の収集袋の販売店等について解説している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                    |
| 詳細              | <p>○「分別辞典」</p> <p>同冊子を構成している「分別辞典」で約 1200 品目について、どの分別区分に該当するかが一目でわかる仕組みになっている。約 3 年間かけてサンプルを収集し、1200 品目が何ごみに該当するかアイウエオ順に整理している。</p> <p>○分別(14 分別)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラスチック類</li> <li>・ ペットボトル</li> <li>・ 生ごみ</li> <li>・ 空き缶、金属類</li> <li>・ 空きびん、陶磁器、ガラス</li> <li>・ 乾電池類</li> <li>・ 新聞、雑誌類</li> <li>・ 固形燃料ごみ</li> <li>・ 衛生用品、ペット糞等</li> <li>・ 枝草類</li> <li>・ 大型ごみ、電気製品</li> <li>・ 灰</li> <li>・ 動物死体</li> <li>・ 処理困難物</li> </ul> <p>○分別区分に関する説明(例)</p> <p>絵の具...中身は紙類に吸着、容器は材質に応じて各区分へ</p> <p>延長コード...電気製品へ</p> <p>温度計...水銀使用のものはケースに入れて乾電池ボックスへ</p> <p>電池を使用するタイプのものは電気製品へ</p> <p>それ以外は、本体の材質に応じて各区分へ</p> |                                                                    |
| その他             | 問い合わせが多数あるため、市は 290 円(送料込み)で応じている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                    |
| 課題              | <p>ごみの発生抑制に結びつく情報の提供が必要である。</p> <p>分別の方法だけでなく、その後の処理方法や処理費用に関する情報を盛り込むことが有効である。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                    |
| 類似事例            | 岩手県花巻市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 「ごみ分別大辞典」を 28000 部作成し全世帯に配布。                                       |
|                 | 大阪府豊中市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ごみ分別の方法や粗大ごみの出しについて、英語、中国語、ハングル語、ポルトガル語の 4 カ国語で翻訳した外国語版ごみ分別の冊子を発行。 |

| 福岡市 「ごみトーク in 福岡」 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                 |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 概要                | 平成元年から毎年一回開催。平成 12 年の第 12 回では、生ごみから作った堆肥を用いて生産した有機野菜等の販売や、デポジットカフェなどのイベント、 <u>地域でのごみ減量・リサイクルの取り組み事例を市内 7 区の代表が発表する「ごみトーク in 福岡」を開催。</u>                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                 |
| 詳細                | <p>○「ごみトーク in 福岡」</p> <p>福岡市では、家庭ごみ減量化やリサイクル推進を図るために、区ごみ減量アクション事業や地域集団回収等表彰制度などが実施されており、これらの優れた取組事例が「ごみトーク in 福岡」で発表された。</p> <p>発表団体には賞が授与された。</p> <p>○平成 12 年度授与事例</p> <p>『リサイクルマーケット 地域を超えて広がるで賞』</p> <p>城南区内にある福岡大学では、毎年多くの学生が卒業し、その都度大量の粗大ごみが排出される。そのことに着目し、使用可能な家具や家電製品を収集・展示し、新入生らに譲る取組を実施。運営は福岡大学の学生が中心。</p> <p>これまでに集まった品物は家具・電化製品が 630 点、教科書類が 790 冊。リサイクルマーケット開催期間中(3 日間)に、1,724 名が来場。</p> |                                                 |
| その他               | <p>今年度は 10 月 21 日開催予定。</p> <p>平成 12 年度および 13 年度は表彰授与事例を報告書で紹介している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                 |
| 課題                | <p>表彰された取組の継続的实施、他地域への発展</p> <p>行政等による支援策</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                 |
| 類似事例              | 大阪市<br>神戸市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ごみ減量化やリサイクル促進に向け、積極的な取組をしている店舗を表彰している。          |
|                   | 札幌市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ごみステーションパトロールや町内清掃の推進等のボランティア活動に対して市長表彰を授与している。 |

| 北九州市 環境家計簿コンテスト |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                  |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 概要              | 各家庭で使用した電気、ガス、水道、灯油、ガソリン、軽油の使用量と <u>ごみの排出量</u> から二酸化炭素の排出量を計算するという環境家計簿を作成している。<br>二酸化炭素排出量とその削減のために実施した取組などを応募し、 <u>削減効果が大きい取組やユニークな取組などを表彰する。</u>                                                                                                                                                                                                            |                                                  |
| 詳細              | <p>○環境家計簿</p> <p>電気、ガス、水道の使用量についてはメーターもしくは請求書で調べる。<br/>ごみは指定袋に入れた状態で計量。<br/>二酸化炭素排出量の計算方法は、各使用量に CO2 排出係数を掛け合わせた数値を記入。<br/>その他、各家庭における CO2 削減に向けた取組を記入。</p> <p>○コンテスト</p> <p>選考基準：CO2 の排出量が少ない、または、削減効果が大きい取組<br/>ユニークで効果がある取組</p> <p>表彰：優秀賞          1 名(副賞 商品券 5 万円)<br/>         努力賞          2 名(副賞 商品券 3 万円)<br/>         ユニーク賞      2 名(副賞 商品券 3 万円)</p> |                                                  |
| その他             | <p>募集期間：平成 14 年 12 月 1 日～平成 14 年 12 月 31 日</p> <p>表彰日：平成 15 年 2 月</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                  |
| 課題              | <p>表彰を受けた取組の継続的实施</p> <p>他の参加団体や無関心層へ紹介し、可能な限り展開させてゆくことが重要。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                  |
| 類似事例            | 仙台市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 家庭での取組を点数化し、中級編をクリアすると、エコ・チャレンジパスポートが交付される。      |
|                 | 札幌市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 環境家計簿の参加者に抽選でエコグッズをプレゼントする。                      |
|                 | 名古屋市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 環境家計簿に取り組んだ家庭の中で、その取組が優秀と判断された家庭をエコライフ家族として認定する。 |
|                 | 大阪市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                  |

表 自治体、各種団体、企業などが作成している環境家計簿の概要

|       |               |                              |                                                                                                                   |
|-------|---------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地方自治体 | 宮城県           | 「環境に配慮した暮らしのススメ」             | 日常生活におけるリサイクル、電気、ガス、水などに関する行動をチェックし、点数化する。チェック欄は一回分のみ。                                                            |
|       | 埼玉県<br>春日部市   | 「エコ日誌」                       | 電気、ガス、水、自動車等につき曜日ごとにテーマがあり、合計 35 のチェック項目について 3 段階のチェックを行う。期間は 4 週間。                                               |
|       | 千葉県           | 「環境チェックリスト」                  | 省エネ、水、ゴミ、リサイクル等 30 項目について 4 段階のチェックを行う。チェック欄は 1 回分のみ                                                              |
|       | 東京都           | 「エネルギーダイエットノート」              | エネルギー消費やリサイクルに関する行動について、行ったことをチェックすることにより二酸化炭素の排出量を算出するもの。                                                        |
|       | 東京都<br>板橋区    | 「環境にやさしい暮らしの点検表」             | 曜日ごとに省エネ、水、ゴミ等のテーマがあり 3 段階でチェックを行う。また巻末に月別の光熱費と使用量を記入する箇所あり。                                                      |
|       | 東京都<br>荒川区    | 「環境家計簿」                      | 省資源、省エネ、ゴミ減量等について週別にテーマがあり、3 段階でチェックを行い点数化する。                                                                     |
|       | 東京都<br>練馬区    | 「環境カレンダー」                    | 毎月 2 つの目標を設定し、実施する。46 個の目標チェックを年末年始に行う。                                                                           |
|       | 東京都豊島区        | 「家族でつけよう環境家計簿」               |                                                                                                                   |
|       | 横浜市           | 「省エネルギー読本」                   | 冷暖房、台所や風呂といった暮らしの 10 個の場面毎に省エネ行動をしているか否かチェックする。                                                                   |
|       | 岐阜県           | 「環境アクションノート」                 | 1 日 5 つの問題について 3 段階でチェックを行う。記入は 1 週間。対象は小・中学生。                                                                    |
|       | 静岡県           | 「環境にやさしい暮らしカレンダー」            |                                                                                                                   |
|       | 浜松市           | 「くらしの環境家計簿」                  |                                                                                                                   |
|       | 春日井市          | 「サンプル家計簿」                    |                                                                                                                   |
|       | 名古屋市          | 「生活環境チェック」                   | 自然へ親しむなど 6 つのテーマについて 3 段階でチェックを行う。期日の定めはない。                                                                       |
|       | 三重県           | 「環境チェック帳」                    | 電気の使用量を普段の日と節約をした日を比較しどれだけ節約できるかチェックすることをはじめ、ごみ、リサイクル、自然環境を 26 項目にわたり様々な方法でチェックを行う（中学・高校生向け）。他に小学校高学年向け、低学年向けがある。 |
|       | 滋賀県<br>大津市    | 「環境へのやさしさ貢献度チェック」            | エネルギー・資源節約の事例を 1 ヶ月間実践して記入し、経済的効果を試算する。                                                                           |
|       | 京都府           | 「地球にやさしいくらし方ワークブック」          | エネルギー・ゴミなど 5 つのテーマに対して 5 段階で 2 度のチェックを行い、比較をする。ペットボトル、缶、トレーなどの買い物と処分方法を数量で 1 ヶ月間チェックする。エネルギー使用量と料金を一年間分記載する箇所あり。  |
|       | 京都市           | 「家族で作る環境家計簿」                 | 水、乗り物、買い物、ごみ、電気について使用量から二酸化炭素排出量の算出する他、3 段階の行動チェックを行う。                                                            |
|       | 大阪市           | 「環境家計簿」                      | 30 個の目標を 2 段階で 2 度チェックし、比較する。対象は小・中学生。                                                                            |
|       | 神戸市           | 「エコチェックが始まるよ」                | エネルギー編、水編、ゴミ編などがあり、それぞれについて行動のチェックや採点などを行う。小学生向け。                                                                 |
|       | 島根県<br>出雲市    | 「エコ・チェックノート」                 | 50 個の目標をチェックし 2 段階でチェック。中学生対象。                                                                                    |
|       | 高知県           | 「こうちエコダイアリー」                 | 電気、ガス、水道、ガソリン、ごみなど 14 項目についての使用量を月ごとにチェックし、家庭から排出される二酸化炭素の量を算出する。                                                 |
|       | 熊本県<br>熊本市    | 「環境に配慮した日常生活チェック表」           | 水、食事、自動車、ゴミ等 35 個の目標を 3 段階で 4 ヶ月毎週チェックをする。電気、水道の使用量を前年同月と比較する。                                                    |
| 公益団体等 | 日本生活協同組合連合会   | 「エコライフダイアリー」<br>「私の環境度チェック表」 | 月ごとに電気、ガス等のテーマがあり、使用量や洗濯回数等を細かくチェックし、数値を記入。また行動を 3 段階でチェック。期間は一年間。                                                |
|       | 日本 YMCA 環境委員会 | 「環境家計簿」                      | 電気について毎月テーマがあり、3 段階でチェックを行うほか、機器について 1 日の使用時間をチェックする。月別の電気使用量と料金を記入。                                              |
|       | (財)省エネルギーセンター | 「省エネコンシューマーズガイド」             | エネルギーの消費量と料金を毎月記入。                                                                                                |
|       | (財)広島県環境保健協会  | 「エコ - ノート」                   | 月ごとにエネルギー使用量をチェックし二酸化炭素排出量を早見表でポイント化。毎月 5 つの目標を 2 段階で評価する。                                                        |
|       | グリーンピースジャパン   | 「ストップ! 温暖化」                  | 電気やガスの消費量、家電製品の使用頻度等を記入して送付することにより、それぞれから二酸化炭素がどれだけ排出されているか診断する。                                                  |
| 企業    | 東京ガス(株)       | 「みどりちゃんのエコライフ日記」             | ガス、電気、ガソリン、灯油、水道の使用量を毎月チェックし、二酸化炭素の排出量を算出する。                                                                      |
|       | トヨタ自動車(株)     | 「エコロチック」                     | 電気、ガス、水道、ガソリン、リサイクルについて、2 ヶ月間使用量等をチェックし、二酸化炭素排出量を算出する。(社内向け)                                                      |
|       | 安田火災海上保健(株)   | 「ひまわりさんちのエコライフシート」           | 18 の項目について 2 段階でチェックするほか、電気、ガス、水道、ガソリンの使用量を毎月チェックし二酸化炭素排出量を算出する。(社内向け)                                            |
|       | (株)荏原製作所      | 「環境家計簿」                      | 電気、ガス、灯油、ガソリン、水道の使用量について月毎にチェックし、二酸化炭素排出量を算出する。(社内向け)                                                             |

平成 9 年 12 月現在環境庁調査より

| 北海道栗山町 エコマネー「クリン」 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要                | 1999 年から「くりやまエコマネー研究会」により地域通貨導入の準備を開始。2000 年 2 月の実験的導入の後、現在は第 3 次試験流通段階(2001 年 9 月 29 日～2003 年 3 月)にある。通貨単位は「クリン」と名付けられ、現在参加者は約 720 人。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 詳細                | <p>A さんがあるサービスを受けたいと思った場合、</p> <p>仲介役であるコーディネータにサービスの内容や条件を伝える。</p> <p>コーディネータは、運営団体のホストコンピュータを使ってマッチング処理を行い、会員の中からそのサービスを提供できる B さんを探し交渉する。</p> <p>交渉成立後、B さんは A さんに連絡し、内容や日程等の確認を行う。</p> <p>A さんはサービスの提供を受けた後、その報酬として 1 時間当たり 1000 クリンを B さんに渡す。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD     A[地域通貨運営団体「くりやまエコマネー研究会」] &lt;--&gt; B[マッチング]     B &lt;--&gt; C[コーディネータ]     C &lt;--&gt; D[最終確認]     D &lt;--&gt; E[サービス実施]     E &lt;--&gt; F[地域通貨支払]     F --&gt; G[サービス提供者 B]     G --&gt; H[サービス提供交渉]     H --&gt; C     C --&gt; I[サービス依頼者 A]     I --&gt; J[サービス申込み]     J --&gt; E     E --&gt; A     E --&gt; B     E --&gt; C     E --&gt; D     E --&gt; F     E --&gt; G     E --&gt; H     E --&gt; I     E --&gt; J     </pre> </div> <p>地元の協賛店舗で買物する際はポイントカードにスタンプを押してもらい、5 ポイントで 500 クリンと交換可能。ただし、<u>ごみ減量化のための買物袋の持参や無駄な包装の辞退、エコマーク商品の購入など環境対策への寄与</u>がポイント付与の条件となる。</p> |
| その他               | 協賛店を通じてエコポイント制度を活用することで、環境改善効果が期待される。エコポイントにより販売が促進された協賛店からは、1 ポイントあたり 2 円がエコマネー研究会に「緑の基金」として寄付され、環境美化活動に活用される。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 課題                | 地元での認知度を高め、利用者や協賛店舗の拡大が必要である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 類似事例              | 東京都渋谷区 エコマネー「アースデイ(r)」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

| 東京都渋谷区 エコマネー「アースデイ(r)」 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要                     | 「アースデイマネー・アソシエーション(edma)」によるプロジェクト。渋谷駅周辺の地元商店や住民、環境意識の高い個人等の協力で、地域通貨「edma」の流通実験を本格導入。地域通貨はアースデイと呼ばれ、単位は「r」。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 詳細                     | <p>edma が「r」を受け入れてくれる支援商店を募る。</p> <p>8 つのプロジェクト(ごみゼロ運動、渋谷川の緑化計画、都市と農村の交流など)から支持するものを選択し、資金援助または活動への参加により貢献する。</p> <p>引換えに、一定額の「r」を受け取る。</p> <p>協賛商店で商品を購入する際は、代金の一部を「r」で支払うことが出来る。</p> <p>また、edma が主催するフリーマーケットでは「r」のみで支払うことが可能。</p> <div data-bbox="526 900 1197 1326"> <p>The diagram illustrates the 'Earth Day (r)' system. It features three main components: '参加企業・商店等' (Participating Businesses/Stores), '地域通貨運営団体 (NPO等)' (Local Currency Operating Organization (NPOs, etc.)), and '個人' (Individuals).    1. '参加企業・商店等' includes '商店A', '商店B', and '商店C'. They are connected by a circular arrow labeled '地域通貨' (Local Currency).    2. '地域通貨運営団体' includes 'プロジェクトA', 'プロジェクトB', and 'プロジェクトC'.    3. '個人' includes '個人A', '個人B', and '個人C', also connected by a circular arrow labeled '地域通貨'.    Arrows show the flow of '地域通貨「r」(+法定通貨)' (Local Currency 'r' (+legal tender)) from the businesses to the individuals and from the individuals to the NPOs. A double-headed arrow labeled '賛同支援' (Support) connects the businesses and the NPOs.    A note at the bottom states: '(注) 各プロジェクトを主催するのは、原則、運営団体とは独立したNPO等' (Note: Each project is原则上 organized by an NPO independent of the operating organization).    A source note at the bottom left states: '資料：アースデイマネー公式ガイド等をもとに作成' (Materials: Created based on the Earth Day Money official guide, etc.).</p> </div> |
| その他                    | 「r」には、現金の一部として商品やサービスの支払いに利用できるという利便性があるため、個人が安心して継続的に支援することが出来る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 課題                     | <p>「r」を利用できる店舗が限られている上、どの店舗で利用できるのかがはっきりしない。</p> <p>「r」を利用することのメリットがはっきりしない。</p> <p>知名度が低い。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 類似事例                   | 北海道栗山町 エコマネー「クリン」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

表 二段方式で有料化を実施している 5 市の取組

|                  | 制度の概要                   |                                                                                                                                                                                                                | 資源ごみ分別                                                                                                                                                         | 廃棄物量の推移                                                                                                        | その他                                                                                |
|------------------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
|                  | 導入時期                    | 料金体制                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                |                                                                                                                |                                                                                    |
| 柳井市<br>34,000 人  | 1978<br>可燃ごみ            | 指定袋 4 枚まで 50 円/月で、5 枚目から 1 枚につき 50 円の従量料金からなる二段方式で開始。その後、同年 12 月に、配布枚数を 6 枚に、さらに 1987 年 4 月からは 7 枚に変更し。現在に至る。容量は 30L。<br>2000 年 9 月からは、半透明の袋に変更。燃焼性に優れ、ダイオキシン生成抑制作用がある。定量制袋は原価(10 円/1 枚)割れ販売だが、従量制袋には手数料が含まれる。 | 缶・金属類、びん・ガラス類、乾電池、残灰・陶磁器類に分類し、民間業者に委託し無料収集。～ はリサイクル、は埋め立て処理。2001 年度からは、びんを容器包装リサイクル制度の指定法人ルートに切り替え、ペットボトルについては、2000 年 4 月から資源ごみとして月 1 回収集し、指定法人ルートでリサイクルされている。 | 導入が 20 年以上前のため、導入当時のデータは入手不可能。近年は、ごみ総量と 1 人 1 日あたりのごみ量はほぼ横ばいで推移。                                               | 日本初の二段方式有料化                                                                        |
| 都城市<br>133,000 人 | 1995.10<br>可燃ごみ<br>不燃ごみ | 1 世帯につき、可燃ごみ用(30L)100 枚と不燃ごみ用(45L)20 枚を 300 円で配布・販売(2.5 円/1 枚)。原価(6～8 円/1 枚)割れの販売。追加購入分は小売店で購入(大袋 35.7 円/1 枚、小袋 30.6 円/1 枚)。                                                                                   | 10 種類に分別。2000 年度からはペットボトルの収集が開始され、指定法人ルートでリサイクルされている。                                                                                                          | ごみ総量は新制度導入年度とその翌年度に微増。                                                                                         | 2001 年、清掃工場が改修工事中のため、週 1 回可燃ごみの収集をし、民間の堆肥化工場で委託処理を実施。可燃ごみの収集回数が減る事で、収集量減少が確認されている。 |
| 守山市<br>66,000 人  | 1982.07<br>可燃ごみ<br>不燃ごみ | 可燃ごみの袋は年間 110 枚で、大袋 20 円/1 枚、小袋 17 円/1 枚で配布・販売。不燃ごみの指定エフ(針金のついた紙製の札)については年間 55 枚を無料配布。追加購入分は、市役所・地区会館で購入可能(150 円/1 枚)。指定袋は再生紙で作られている。不燃ごみについては指定のエフを付けた自由袋やダンボール箱で出す。                                          | 1997 年度からペットボトルの店頭回収と指定法人ルートでリサイクルを開始。                                                                                                                         | ごみ総量は、新制度導入初年度で前年比 21%減、83 年度に 40%減、84 年度に 58%減。この結果は、有料化に加え、埋め立て地に建築廃材の搬入を禁止したことによる。1 人 1 日あたりのごみ量では 4 割減を維持。 |                                                                                    |
| 御殿場市<br>82,000 人 | 1995.07<br>可燃ごみ<br>不燃ごみ | 可燃ごみ袋は年間 100 枚(1997 年までは 80 枚)、不燃ごみ袋 20 枚を小袋(20L)10 円、中袋(30L)15 円、大袋(45L)20 円で販売。自治会から配布される引換券を提示し販売店で購入できる。引換券の枚数以上に購入する場合は、価格が高くなる。                                                                          | ペットボトルは店舗回収され、指定法人ルートでリサイクルされている。缶、びん、古紙の資源物としての収集は有料化の 2 年前から実施。                                                                                              | ごみ総量及び 1 人 1 日あたりのごみ量はいずれも、導入後 3 年間、導入前と比べ 20%以上減少。                                                            | 外国人居住者が増加傾向にあるため、指定袋には外国語の表記もされている。                                                |
| 関市<br>74,000 人   | 1996.10<br>可燃ごみ<br>不燃ごみ | 可燃ごみ袋は、単身世帯で 80 枚、2～5 人世帯で 100 枚、6 人以上世帯で 110 枚、それに不燃ごみ袋として全世帯に 12 枚の指定袋を原価で購入できる券が自治体から配布。この券を引き換える場合、1 枚の価格は、可燃ごみ袋が 6 円(45L)と 4.5 円(30L)、不燃ごみ袋が 9.5 円。追加購入分は全て 300 円/1 枚。                                    | 13 品目を分別収集・リサイクル。びんとペットボトルについては指定法人ルートにのせている。                                                                                                                  | ごみ総量及び 1 人 1 日あたりのごみ量はいずれも、1997 年以降減少傾向。家庭ごみ総量については 20%以上減少。                                                   | 引換券が年度末にあまっている場合は、市が買い取る。指定袋には外国語の表記もされている。                                        |

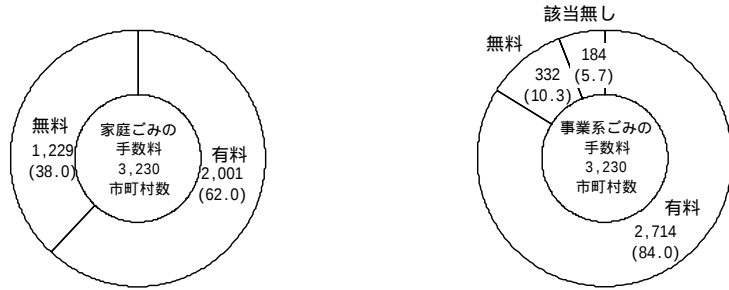
# 市町村におけるごみ処理手数料の状況

表 収集区分別の有料化状況

| 排出形態  | 有料化されているごみ | 混合ごみ | 可燃ごみ  | 不燃ごみ  | 資源ごみ |       |       |        |        |     | その他 | 前記いずれかが有料 | 粗大ごみ  | 粗大ごみを含めていずれかが有料 |
|-------|------------|------|-------|-------|------|-------|-------|--------|--------|-----|-----|-----------|-------|-----------------|
|       |            |      |       |       | 紙類   | 金属類   | ガラス類  | ペットボトル | プラスチック | その他 |     |           |       |                 |
| 家庭系ごみ |            | 39   | 1,550 | 1,176 | 248  | 646   | 559   | 358    | 149    | 177 | 206 | 1,620     | 1,442 | 2,001           |
| 事業系ごみ |            | 100  | 2,605 | 2,123 | 641  | 1,213 | 1,130 | 741    | 293    | 389 | 462 | 2,677     | 1,699 | 2,714           |

表 ごみ処理手数料の有料化状況

| (市町村数) |      |       |
|--------|------|-------|
| 家庭系ごみ  | 有料   | 2,001 |
|        | 無料   | 1,229 |
| 事業系ごみ  | 有料   | 2,714 |
|        | 無料   | 332   |
|        | 該当無し | 184   |

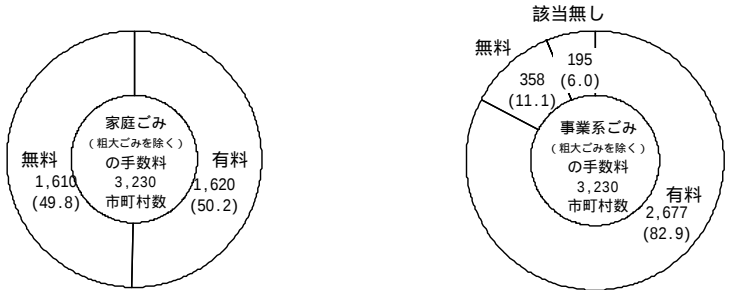


( )内は%

図 ごみ処理手数料の有料化の状況

表 粗大ごみ処理手数料の有料化状況

| (市町村数) |      |       |
|--------|------|-------|
| 家庭系ごみ  | 有料   | 1,620 |
|        | 無料   | 1,610 |
| 事業系ごみ  | 有料   | 2,677 |
|        | 無料   | 358   |
|        | 該当無し | 195   |



( )内は%

図 ごみ処理手数料の有料化の状況 (粗大ごみを除く)

| 福岡市 地域集団回収報奨制度 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                  |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 概要             | ごみの減量化と再資源化を進めるため、地域での資源物の集団回収に対して報奨金を支給している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                  |
| 詳細             | <p>○報奨制度の対象団体</p> <p>町内会、子ども会育成会、婦人会、老人クラブ、PTA など地域の団体で、あらかじめ市に参加申し込みをしている団体</p> <p>○報奨金</p> <p>対象期間(1月～12月)に回収した資源物の回収量に応じて報奨金(1kgあたり3円)を支給する。</p> <p>○参加手続き</p> <div data-bbox="572 851 1318 1619"> <p>地域集団回収報奨金の流れ</p> <pre> graph TD     A[参加申込書記載] --&gt; B[環境推進委員の確認]     B --&gt; C[区役所生活環境課に提出]     C --&gt; D[集団回収等の実施]     D --&gt; E[実績報告書記載]     E --&gt; F[環境推進委員の確認]     F --&gt; G[区役所生活環境課に提出]     G --&gt; H[報奨金額決定・通知]     H --&gt; I[報奨金支給(口座振替)]                     </pre> <p>参加申込書(3部複写)に必要事項を記載。</p> <p>参加申込書に町環境推進委員の確認印をもらう。</p> <p>参加申込書を区生活環境課に提出。</p> <p>回収した資源物の品目・量を記した仕切書を業者からもらう。</p> <p>対象期間(1月～12月)内に実施した品目ごとの回収量の合計と回数を実績報告書に記載し、仕切書を添付して提出用に。</p> <p>実績報告書に環境推進委員の確認印をもらう。</p> <p>実績報告書を区役所生活環境課に提出。</p> <p>報奨金額決定・通知</p> <p>報奨金支給(口座振替)</p> </div> |                                                                  |
| その他            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                  |
| 課題             | 奨励金を申請する手続きがやや面倒である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                  |
| 類似事例           | 大阪市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 新聞・雑誌・ダンボールなどの古紙回収の回収量に応じて、古紙再生品を回収団体に提供(回収量(kg)×0.5円相当)。        |
|                | 横浜市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 市に登録した集団回収実施団体に、奨励金を支給(3円/kg)。                                   |
|                | 北九州市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 古紙を回収している子ども会や町内会に、奨励金を支給(新聞6円/kg、その他3円/kg)。古紙回収のための保管庫の貸し出しも実施。 |

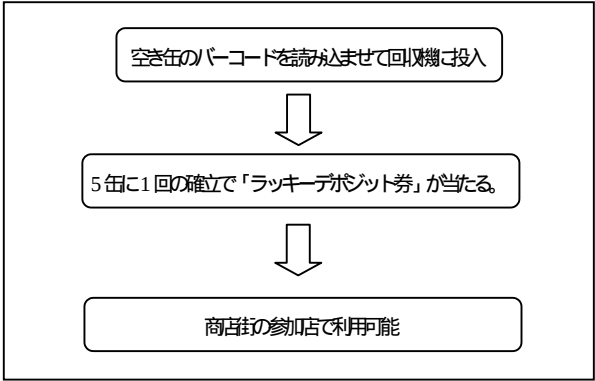
| 「早稲田いのちのまちづくり実行委員会」 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                  |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 概要                  | 「早稲田いのちのまちづくり実行委員会」が中心となり、リサイクルやバリアフリー等の 6 分野について、地域における連携の可能性を模索している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                  |
| 詳細                  | <p>○メンバー</p> <p>商店主、早稲田の住民、早稲田大の教授、学生、企業、マスコミ等</p> <p>○テーマ</p> <p>リサイクル、バリアフリー、震災対策、情報(インターネット)、地域教育、零細小売活性化</p> <p>○環境問題に関連する主な活動</p> <p>エコサマーフェスティバル in 早稲田</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「エコ・オークション」(使用可能な粗大ごみのオークション)</li> <li>・環境機器メーカーの展示会</li> </ul> <p>エコステーション</p> <p>「ラッキーリサイクル回収機」の設置</p> <p>「ラッキーリサイクル回収機」の仕組み</p>  <pre> graph TD     A[空き缶のバーコードを読み込ませて回収機に投入] --&gt; B[5缶に1回の確立で「ラッキーデポジット券」が当たる。]     B --&gt; C[商店街の参加店で利用可能]   </pre> |                                  |
| その他                 | <p>(株)商店街ネットワークを設立し、地域の人や企業、専門家等を巻き込んだ町作りを推進している。</p> <p>エコステーションは各地に広がりを見せ、全国 50 の商店街に設置されている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                  |
| 課題                  | 缶の中の残留飲料により「エコステーション」が汚れ店舗の負担となっている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                  |
| 類似事例                | 横浜市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 神奈川大の学生と共に夜間フリーマーケットを実施(六角橋商店街)。 |
|                     | 高崎市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 学生による地域ヒアリングを実施し、地域活性化への活路を模索中。  |

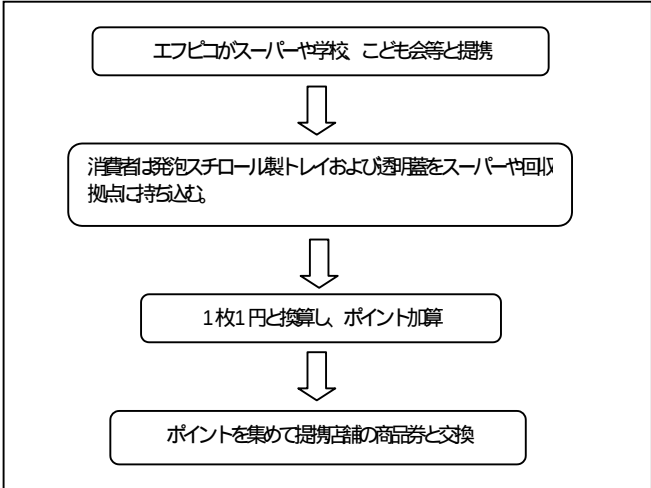
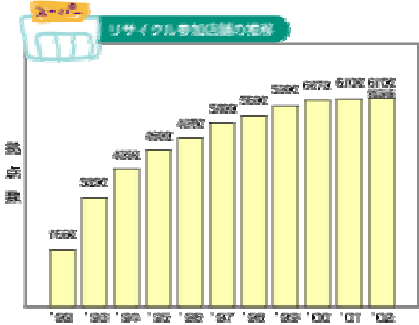
表 13 大都市(東京都除く)における家庭ごみの収集区分

|      | 可燃ごみ<br>燃えるごみ | 不燃ごみ<br>燃やせないごみ | 資源ごみ<br>粗大ごみ<br>大型ごみ | プラスチックの<br>収集区分      | プラスチックの大きさによる分別基準                                     | 資源ごみ                              | 資源ごみの分別方法                                                      | 資源ごみの<br>収集頻度              | 古紙<br>古布 | 古紙・古布の<br>収集頻度 | 古紙・古布の収集方法                                  | その他                |
|------|---------------|-----------------|----------------------|----------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------|----------------------------|----------|----------------|---------------------------------------------|--------------------|
| 札幌市  | 燃やせるごみ        | 燃やせないごみ         | 大型ごみ*                | 資源ごみ                 | 1辺30cm以上は大型ごみ                                         | びん・缶・ペットボトル                       | まとめて同一の袋で出す。                                                   | 週1回                        |          |                | 地域回収(月1回程度)を利用                              |                    |
| 仙台市  | 家庭ごみ          |                 | 粗大ごみ*                | 家庭ごみ<br>粗大ごみ         | 1辺30cm以上は大型ごみ                                         | プラスチック製容器                         | 専用のかごに混合して入れる。                                                 | 週1回                        |          |                | 地域や業者による回収を利用                               | 乾電池・蛍光灯・臨時ごみ・事故搬入* |
| 千葉市  | 可燃ごみ          | 不燃ごみ            | 粗大ごみ*                | 可燃ごみ<br>不燃ごみ<br>粗大ごみ | 柔らかいものは可燃ごみ、<br>堅いものは不燃ごみ、20L石油缶リサイクルより<br>大きいものは粗大ごみ | びん                                | 無色、茶色、その他に分けて別々のステーション<br>ボックスに入れる。                            | 週1回                        |          | 月1回            | 補助金を出し地域団体による回収をしている。                       | 有害ごみ               |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       | 缶<br>ペットボトル                       | ステーションボックスに入れる。<br>ステーション専用のネットに入れる。                           | 週1回<br>週1回                 |          |                |                                             |                    |
| 川崎市  | 普通ごみ          |                 | 粗大ごみ**               | 普通ごみ<br>粗大ごみ         | 1辺50cm以上は粗大ごみ                                         | びん                                |                                                                | 週1回                        |          |                | 資源集団回収へ出す。                                  | 乾電池                |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       | 缶・ペットボトル<br>雑金属類                  |                                                                | 週1回<br>週1回                 |          |                |                                             |                    |
| 横浜市  | 家庭ごみ          |                 | 粗大ごみ*                | 家庭ごみ                 | 1辺50cm以上は粗大ごみ                                         | びん・缶・ペットボトル<br>金属類                | まとめて同一の袋で出す。                                                   | 週1回<br>週1回                 | 古紙<br>古布 |                | 資源集団回収へ出す。<br>一部拠点回収を実施                     | 乾電池                |
| 名古屋市 | 可燃ごみ**        | 不燃ごみ**          | 粗大ごみ*                | 不燃ごみ                 | 1辺30cm以上は粗大ごみ                                         | びん                                | 専用のかごへ入れる。                                                     | 週1回                        | 新聞       |                | 資源集団回収、リサイクルステーション、古紙リサイクルセンターへ出す。          |                    |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       | 缶                                 | 専用のかごへ入れる。                                                     | 週1回                        | 雑誌       |                | 資源集団回収、リサイクルステーション、古紙リサイクルセンターへ出す。          |                    |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       | ペットボトル                            | 資源用指定袋に入れて出す。                                                  | 週1回                        | 段ボール     |                | 資源集団回収、リサイクルステーション、古紙リサイクルセンターへ出す。          |                    |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       | プラスチック製容器包装                       | 資源用指定袋に入れて出す。                                                  | 週1回                        | 紙製容器包装   |                | 資源集団回収、リサイクルステーション、古紙リサイクルセンターへ出す。          |                    |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       | スプレー缶類**                          | 資源用指定袋に入れて出す。                                                  | 週1回                        | 衣類       |                | 資源集団回収、リサイクルステーション、古紙リサイクルセンターへ出す。          |                    |
| 京都市  | 家庭ごみ          |                 | 大型ごみ*                | 家庭ごみ                 | 炊飯器より大きいサイズは大型ごみ                                      | びん・缶・ペットボトル                       | まとめて同一の袋で出す。                                                   | 週1回                        |          |                | 民間業者が回収している。                                |                    |
| 大阪市  | 普通ごみ          |                 | 粗大ごみ**               | 普通ごみ                 | 1辺30cm以上は粗大ごみ                                         | びん・缶・ペットボトル<br>金属類<br>プラスチック製容器包装 | まとめて袋に入れ排出用シールを貼って出す。<br>現時点ではテスト段階                            | 2週間に1回<br>2週間に1回<br>2週間に1回 |          |                | 一部、業者が回収している場合もある。                          |                    |
| 神戸市  | 家庭ごみ          |                 | 荒ごみ                  | 荒ごみ                  | 荒ごみ                                                   | びん                                | 平成13年11月から一部地域で「缶・ペットボトル」とともに一緒の袋で回収、3種類のかごを設置し色別で回収している地域もある。 | 月2回                        |          |                | 一部ステーション回収をしているが、集団回収が主要である。                |                    |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       | 缶・ペットボトル                          | まとめて同一の袋で出す。                                                   | 月2回                        |          |                |                                             |                    |
| 広島市  | 燃やせるごみ        | 燃やせないごみ         | 大型ごみ*                | 燃やせないごみ              |                                                       | びん                                |                                                                | 月2回                        | 新聞       | 月2回            |                                             | 有害ごみ               |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       | 缶                                 |                                                                | 月2回                        | 雑誌       | 月2回            |                                             |                    |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       | 金属類                               |                                                                | 月2回                        | 段ボール     | 月2回            |                                             |                    |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       | ペットボトル                            |                                                                | 月2回(他の資源ごみと異なる回収日)         | 本        | 月2回            |                                             |                    |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       |                                   |                                                                |                            | 古布       | 月2回            |                                             |                    |
| 北九州市 | 一般ごみ          |                 | 粗大ごみ*                | 一般ごみ<br>粗大ごみ         | 破砕して一般ごみとして出すことは可能であるが、家電のような大型のものは粗大ごみとして出す。         | びん・缶                              | まとめて同一の袋で出す。                                                   | 月3回                        |          |                | 補助金を出し、業者による集団資源回収をしている。新聞販売店回収方式の導入を行っている。 | 引っ越しごみ*            |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       | 缶・ペットボトル                          | まとめて同一の袋で出す。                                                   | 月2回                        |          |                |                                             |                    |
| 福岡市  | 燃えるごみ         | 燃やせないごみ         | 粗大ごみ*                | 燃えるごみ<br>粗大ごみ        | 袋に入らないもの、袋に入っても結べないもの、袋が破れてしまう重さのものに關しては粗大ごみとして出す。    | びん・ペットボトル                         | まとめて同一の袋で出す。                                                   | 月1回                        |          | 古紙             | 集団回収に出す。もしくは、市内180カ所に設置された紙リサイクルボックスを利用する。  |                    |
|      |               |                 |                      |                      |                                                       |                                   |                                                                |                            |          | 古布             | 集団回収に出す。                                    |                    |

資料:各市のホームページ掲載情報及びヒアリング調査結果より作成

\* 申込による戸別収集(有料)

\*\* 申込による戸別収集(無料)

| 株式会社エフピコ トレイの店頭回収促進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                    |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 概要                  | 登録した町内会や子ども会、学校に持ち込まれた発泡スチロール製トレイおよび透明蓋のポイント制によるインセンティブ回収を実験的に実施している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                    |
| 詳細                  | <p>○トレイインセンティブ回収のしくみ</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">エフピコホームページより</p> <p>○インセンティブ回収対象製品</p> <p>発泡スチロールトレイ<br/>透明蓋</p> <p>いずれも、エフピコ製品(エフピコのマークが印字してある)に限る。</p> |                                                                    |
| 他                   | 回収したトレイは全国 8 ヶ所のリサイクル工場で、選別、洗浄、破砕され回収量に対し 93%の割合でトレイに再生される。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                    |
| 課題                  | <p>嵩高いため輸送効率が悪い。</p> <p>食品用トレイの中でも、色つきのもの、ポリスチレン製やポリプロピレン製のもの、またポリスチレン製でも発泡していないもの等があり、選別にコストがかかる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                    |
| 類似事例                | 苫小牧市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 地元スーパー「王子サービスセンター」では、トレイ 10 枚を 1 ポイントとして、50 ポイントで同店の 500 円分商品券と交換。 |